

久里浜地域運営協議会第 44 回定例会

(令和元年度第 4 回)

日時：令和元年 11 月 19 日 (火)

18 時 30 分～19 時 30 分

久里浜行政センター 第 1 会議室

委員出席者：小川会長、森下副会長、中井理事、山田理事、鮎澤会計、
北村委員、村松委員、金満委員、島内委員

事務局出席者：本多館長、前田副館長、塚田

オブザーバー：(株)GNF-J 梁井様

1 各専門部会報告

(1) みんなの公園専門部会 (山田部会長)

花好き会は、会員や地域の方へぼたんやビオラの苗を分配したところです。公園は、ラジオ体操やゲートボール (週 2 回)、保育園児童の散歩コースとして利用されています。

11 月 13 日 (水) 開催された「くりはまみんなの公園代替公園の計画概要報告会」に出席しました。

新しい公園の近隣住民の方々が、騒音などの心配をしている様です。

会議の中で、「犬のブラッシング禁止」や「火遊び禁止」などの禁止行為を看板などに明記してほしいと提案しました。また、新公園が駅に隣接しているため、駐輪場や駐車場を有料にするかどうか検討中ということです。

(本多館長)

ワークショップで出た様々な意見を詰め込んだ公園になるという印象です。公園管理課の計画として、新しい公園にも花好き会の活動が継続できるよう、ビニールハウスや花壇を用意するということです。

(紛澤委員)

台風19号の後、「子どもたちの自然体験」（11月30日（土）開催予定）を実施するにあたり、公園管理課と館長と社協で視察をしました。一部に被害はありましたが、イベント当日が荒天でなければ例年同様のイベントが実施できるという判断をしました。

残念ながら、新しい公園では火が使用できないということで、同じイベントは今年が最後になります。どうぞよろしくお願い致します。

(2) 防災・防犯専門部会（中井部会長）

計画通り進捗しています。

定例会では、障害福祉課網代係長より「福祉避難所」の目的や開設までの手順などについて説明をしていただきました。久里浜小学校震災時避難所運営訓練（11月24日実施）の参加者を対象に同様の話しをしていただく予定です。

9月28日（土）「安全・あんしんのつどい」を開催しました。参加者は115名でした、男性が6割、70代以上が8割を占めていました。（資料①参照）浦賀警察署には、お礼も兼ねてアンケート結果をお伝えしに行く予定です。

(3) 歴史と文化専門部会（小川会長）

「くり太くんと浜子さんが案内する」史跡地図の製作中です。大きさは、A2版です。詳細地図というよりは、史跡や神社仏閣などの名所位置などの概略を理解してほしいという思いで製作しています。

(委員)

地図は完成したらどうするのか

(会長)

販売したいと考えています。その収益は、史跡案内板の製作費など久里浜の文化をこどもたちに継承するための基金とします。

(4) 駅周辺再整備専門部会 (小川会長)

まだ、新しい部会長がみつかっていませんので、代わりに報告します。

道路管理課担当者と森下副会長、久里浜西口栄通り商店会小林会長と私と3名で西口栄通りを歩いて視察をしました。歩道から医療ビルに入る際、電柱が歩道を塞いでいて、車いすの方やお年寄りが通りづらい場所がありました。

約1メートル道路が狭くなるようですが、歩道は拡幅される予定です。

2 その他

(1) 新病院建設に伴う神明公園横水路の暗渠化 (道路化) について

(委員)

前回、健康部から暗渠化の工事費用が15億円かかるため、暗渠化はせず、既存の道路を使用して計画を進めるという説明を受けましたが、やはり違和感があります。その後、周辺道路を何度も通ってみました。カーブもあり緩やかな坂道もあり再度整備が必要だと思います。

久里浜地域運営協議会の役割として、行政の方針に異論が出てきた場合、その事実を住民に知らせる義務があると思います。アンケート形式でも良いので、地域の諸団体に現状を周知して議論していただき、意見を集約することができないかとは思っています。

(委員)

久里浜は、救急搬送の時間が短くなると見込まれたため、選ばれたと思います。その結果を考慮すると、救急車の侵入方法として、どの通路が良いかを考えてほしいと思います。

救急車の出入り口ということで、大きな通りから入った方が良いというのが市の方針だと思う。裏から回るのはどうなのか。

(委員)

15億円が高いか安いかわという議論はあるが、お金を払えば済むことならばその方が良いのでないか。北下浦から来た車は、134号線から入った方が早く到着できると思う。

(委員)

この久里浜地域運営協議会で、賛成したという事実はなく、採決もしていない。前回の会議で市は、病院利用者の車で周辺道路に迷惑をかけないという説明をしていたが、その科学的根拠を提示してほしい。根拠がなければ、判断ができない。

(委員)

久里浜地域運営協議会で了承したと判断されていること自体が問題だと思います。一般車と混同させない方が、早く到着できることは明らかなので、将来的に長く使う病院ならば、市に再検討を依頼することはできるのか。

(委員)

現在のうわまち町病院も進入しづらいことが移転の理由の一つだったのだから、進入道路に関しては慎重になるべき。

(委員)

懸念点は、暗渠化すると工期が2年間伸びること。前回の会議で、久里浜地域運営協議会が同意した事実はない。その際、くりはま花の国の駐車場の改善も考える必要があるという話がでていたはず。そのあたりの、進捗を含めて、市の方針が決定しているならばこの場で結論を発表してほしい。

(委員)

開院時は、道路の拡張工事が間に合わなくても、数年後に完成する計画を立ててもらえることは可能なのか。

(委員)

本当に15億円かかるのか。

(館長)

科学的根拠に基づいた、役所全体の交通計画を示してほしいと伝え、もう一度この会議に説明をしに来てくれるよう依頼をします。

この件については、小川会長と本多館長が山岸健康部長に面談し、本日の地運協の意見等を伝え、新病院に係る交通計画について検討・説明してくれるよう申し入れることとした。

次回は令和2年1月21日(火)

午後6時30分～

久里浜コミュニティセンター 第1会議室